

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

田辺中だより

No.8 令和5年12月1日発行

京田辺市立田辺中学校

京田辺市興戸北鉾立2-1番地

TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

学校ホームページURL【<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/tanabe-jh/htdocs/>】

「 人権とのつながり 」

人権主任 東 大地

12月10日は、世界人権デーとして、様々な地域で人権について考える時間が設けられています。昨今の世界情勢では、人権侵害の最たるものである『戦争』が引き起こっていることも事実です。そうした中で、人権に関わる研究では、人と人との『つながり』がキーワードとして議論が展開されています。『人とのつながり』は、家庭・地域・学校だけでなく、SNSなどのバーチャルな中でも形成されていきます。近年、そのSNSの普及の中で、人権の在り方が見直されています。今回は『SNSと人とのつながり』の視点から人権についてお話していきます。

子どもたちもよく利用している、SNS（LINE、インスタグラム、X（旧 Twitter））は、人間関係の形成が容易く多くの人々とながれる有用なツールです。その反面、人間関係の形成を『加える』『外す』の作業で行えてしまい、特に「外す」ことに関して抵抗感を薄くしてしまうことが危険視されます。また、エコーチェンバー現象という、SNS上で自分と似た興味関心・価値を持つ人とのつながりや情報ばかり流通する閉鎖的な情報環境が引き起こりやすいとも言われています。SNSは便利な機能や興味関心のある情報を得やすいものでもあります。マイナスイメージから見ると、閉鎖的な人間関係を形成しやすく、逆に壊しやすいものにもなってしまいます。

人権的・道徳的な意識を他者に向けられるかは、その人にとって、より親密であるかが要因となります。つまり、知らない誰か（つながりが無い、関係ない人）より、家族や友人を大切にすることです。それは、当然のこと。ですが、いま世の中で引き起こる人権問題に目を向けるならば、その「知らない誰か」です。戦争で被害を受けたり、SNS上で誹謗中傷・人権侵害に悩まされたりしている人は、「知らない誰か」なのです。

それを解決するために必要なのは、「知らない誰か」を少しでも「知っている人」に変えることだと思います。SNSでの閉鎖的な人間関係だけでなく、身の回りの人を深く知ること、さまざまな人とながれる機会や情報を得ることが、今の時代に必要なことではないかと思います。また、その機会や情報を子どもたちに教えてあげることが、大人の役割でもあると思います。人とのつながりの中で、物事を「正しく知り」その上で「正しい判断」をすることは、人権のあらゆる課題を解決でき、ステキな人になることができるはずです。

「知っている人」に、優しくできる。子どもたちの優しさや人権感覚の豊かさは学校生活のあらゆる場面で、垣間見ることができます。その一つとして、子どもたちが作成した人権メッセージの一部を掲載させていただきます。また、生徒一人一人の作品は、12月上旬から教室前に掲示させていただく予定です。三者面談等でご来校の際に見てもらえたらと思います。

世界人権デーに際して、本校でも人権学習に力を入れていきたいと思いますので、ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

【人権メッセージ】

- ・悩みも笑顔も分け合おう 助け合いが笑顔を繋ぐ（1-3 片岡 結菜 さん）
- ・私達ができること、許す 認める 寄り添える（2-7 高田 杏樹 さん）
- ・やさしさは 私とあなたの 未来の種（3-5 矢賀谷 あかり さん）

今後の予定

12月 4日 (月)	一斉委員会 (B6)
12月 7日 (木)	第1回選挙管理委員会
12月13日 (水) ~20日 (水)	三者面談 3年生は19日 (火) まで
12月22日 (金)	終業式
12月29日 (木)	学校閉鎖 (~4日)
1月 9日 (火)	始業式 (15時半下校) 身体測定

生徒会引継ぎ式

10月30日 (月) 新しい生徒会本部役員が決まり、引継ぎ式がありました。

全校生徒がグラウンドに集まり、その様子を見守りました。

旧生徒会本部役員の「本当にやってみてよかった。」という時に涙を交えたスピーチとそれを受けての新生徒会本部役員のやる気いっぱいのスピーチを聞きました。また一つ3年生から1, 2年生へとバトンが渡されました。



学校公開週間・学習発表会 (展示の部)

11月13日 (月) から11月17日 (金) 学校公開週間と学習発表会 (展示の部) を行いました。各教科や部活動などで取り組んだ作品を展示しました。廊下を中心に色とりどりの掲示物が飾られました。

また夏休みの課題で取り組んだ課題の優秀作品等の発表や展示もありました。



2年生リモート職場体験! (キャリア教育)

2年生では、「リモート職場体験」のクラス発表、学年発表会が行われました。例年2年生では、職場体験を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、職業体験できる事業所の受け入れが少なくなり、4年ほど中止になっていました。また、生徒数の増加により、事業所の数が足りなくなりました。将来の夢や進路を考えるきっかけにもなる職場体験をなんとか形を変えて実施できないかということで、コロナ禍の中で模索していました。研究主任、キャリア教育部が中心となって、規模の大きい田辺中学校だからこそできる職場体験の形を考えたのが、この「リモート職場体験」です。NPO 法人 JAE (ジャイー) の方と連携して、学校にしながら「仕事の体験」をしていきました。

今回のミッションは「①損紙を活用する ②社会問題を解決する」というもので、難易度は高かったですが、昨年度の「ミニ職場体験」での経験を生かして、班 (ここでは会社) で協力して「社長」を中心にミッションに立ち向かっていました。学習しているSDGSも意識されていました。



1. 損紙の「黒」を利用し、目の不自由な人がはっきりと色が見れる。
 2. 損紙の裏の白色の部分を利用し、カラフルな色で小さい子も読みやすい。
 3. どちらのページもイラストを描いており、より楽しく読むことが出来る
- ↓
誰でもより楽しく読みやすい英語図鑑

完成品



PTA庭園整備・田辺カーニバル

11月17日（金）午前にはPTA事業部主催の庭園整備がありました。庭園整備では可愛いパンジーを植えていただきました。また、午後からはPTA本部・運営委員さんと生徒会本部がタッグを組んで、「田辺カーニバル」を開催しました。キッチンカーが来てアツアツの食べ物が購入できたり、体育館では特技を披露したり、中庭で「未成年の主張」をしたりとおおいに盛り上がりました。以前の「PTAの集い」を、形を変えての開催になりましたが、楽しんでいただけたでしょうか。多くの保護者の方々にご協力いただき、また多くの方々にご来校いただきありがとうございました。



小学6年生体験入学

11月10日（金）午後 田辺中学校校区の小学6年生を対象にした「小6体験入学」を行いました。6年生が中学校の授業を実際に体験しました。そのあと、部活動の見学を行う予定でしたが、あいにくの雨。以前に部活動の生徒で作成した紹介ムービーを教室で見ることに変更しました。積極的に発言したり、ノートにメモを取ったりしながら授業を受けている姿が印象的でした。

この「6年生体験入学」は中学校への不安が少しでも減ることを目的に、この3年間ほど、田辺中学校の見学や説明ではなく、中学校の先生による授業体験をしています。小学校での学びは継続していきますので、日々の学びを大切にしながら、入学を楽しみにしてもらえたら幸いです。この日、音楽の授業の後には歌を歌いながら降りてくるなど元気な姿が見られて、6年生のみなさんの入学がとても待ち遠しくなりました。



授業にお邪魔しました

保健体育科 ^{あつち ひでと} 厚地 英人 先生

11月2日（木）4校時 2年2組の体育の授業にお邪魔しました。この日は京都府の初任者研修の授業参観も兼ねていたので、京都府下の保健体育の先生方も参観に来られていました。たくさんのお客さんがいる中で、2組の生徒は元気よく集団行動、体づくり体操などを行っていました。本日の授業は、「自ら考えた演技構成の案を出し合いグループに合う演技を考えよう」というもので、マットの合わせ技を考えていました。事前に出されていた課題をグループで共有し、自分たちの力量に合



わせた技を組み合わせる一つの演技を作っていました。どこからスタートするか、どう終わるか、どんな技ができるかなど、意見を出し合って、2分ほどの練習時間で確認して…とグループで話し合いを進めていました。お手本として、2グループが演技を披露してくれましたが、短い時間の中で見事に構成が練られていました。

厚地先生は、教務主任として学校の教育活動全体を企画運営する仕事を任されています。野球部の顧問としても熱心に指導しています。

保健体育科 ふなこし りか 船越 梨華 先生

11月8日（水）4校時、1年9組の道德の授業にお邪魔しました。1年生の道德では担任の先生だけでなく、いろんな先生が道德の授業をして、様々な角度から課題を深く考えるようにしています。今回の道德では「美しい母の顔」という題材で、家族のことについて考えました。この話では、昔火事があって、娘の命を守るために顔にひどいやけどを負った母（娘が気にすると思って両親で隠していた）とそのやけどの母の顔がみつともないと思っていた娘とのやりとりを通して、人間的な生き方について考えを深めていきました。ご自分の娘さんの話も例に挙げながら、「家族って何だろう」と考えさせていました。

船越先生は1年生の副担任として、保健体育の授業を受け持っています。柔らかな笑顔で生徒に接していますが、大学のバスケットボール部でみっちり鍛え上げられているので、芯のある先生です。女子バスケットボール部の顧問として技術面だけでなく、精神面の向上に向けても指導しています。



保健体育科 みながわ ひでひろ 皆川 英大 先生

11月28日（火）6校時、1年8組の体育の授業にお邪魔しました。ソフトボールの授業終盤の回で、今回は「目標達成目指したTバッティングテスト」を行いました。3年生までの段階が踏めるように、1年生では、まずはTバッティングでより遠くまで打てるようになることを目標にしていました。コーンをおいて、その飛距離を出すためにどうすればいいのか、という問をたてて、グループで話をしながら、解決していっていました。その確かめをするテストでした。授業では、特に「ケガをさせない」「安全を第一に」を意識して進めていました。生徒にもそれが浸透していて、ボールが思った

方向と違うところに飛んだら声をかけたり、転がってきたボールを拾ったらバッティングの準備をしている生徒をよけて転がして返したり、タイミングをしっかりとみて返したりと、生徒自身が安全かどうかを考えて行動していました。

皆川先生は今年度赴任してきました。ご自身の経験を生かして、ハンドボール部の顧問として熱心に技術力向上のために指導されています。



保健体育科 ひらたて かずま 平舘 一馬 先生

11月29日（水）5校時、3年2組の体育の授業にお邪魔しました。3年生もソフトボールでした。3年間通じて少しずつレベルアップを図っています。本日は次回のテストに向けて確認をする練習の時間でした。さすが3年生。体育委員を先頭に、準備や

配置決めなど自主的にさっと進め、スムーズに練習に入っていました。4か所に分かれて、飛ぶボールが重なることがないような配置になっていました。3年生は打つだけでなく、取る、投げるという守備の部分の向上を図っていました。打ったボールをしっかりとキャッチしに行って、1塁に投げるという一連の動作の確認を、声を掛け合って練習していました。野球部の男子はノックのように上手に打ち分けていました。

平舘先生は3年生の学年主任です。3年間を見通した学年経営を行っています。最終的に自分たちで動ける自律した学習者を育成しています。ハンドボール部の顧問として、熱心に指導されています。

